



～マンドリンのまち前橋～

# 朔太郎音楽祭2018

# マンドリンオーケストラ 演奏会 2018.10.14 sun

昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館) 大ホール

14:30開演(13:30開場) 入場無料

指揮 青山忠(朔太郎音楽祭音楽監督)



## I部 学生の部

### 出演

群馬県立前橋高等学校ギター・マンドリン部  
群馬県立前橋女子高等学校ギター・マンドリン部

### 演奏曲

「ライフ・イズ・ビューティフル」N.ピオヴァーニ/武藤理恵 編曲  
「ニュー・シネマ・パラダイス」E.モリコーネ/武藤理恵 編曲  
「東洋の印象 第二組曲」A.アマテイ

## II部 朗読 萩原朔美が選ぶ朔太郎詩～「旅上」篇～

### 出演

前橋文学館 館長 萩原朔美  
第65回NHK杯全国高校放送コンテスト 群馬県大会入賞者

## III部 社会人・大学生の部

### 出演

群馬マンドリン楽団、前橋マンドリン楽団  
ラバース・マンドリンクラブ、公募による一般参加者

### 演奏曲

「旅上」(朔太郎音楽祭委嘱作品 初演)  
萩原朔太郎 詩/武藤理恵 作曲/テノール独唱 角田和弘  
「滅びし国」G.フィリッパ  
「夏の庭」P.シルベストリ  
「ロミオとジュリエット」N.ロータ/武藤理恵 編曲  
「ザ・ゴッドファーザー・メドレー」N.ロータ/青山涼 編曲  
「英雄葬送曲」C.O.ラッタ

ここからは汽車で旅する。

## 主催 ～マンドリンのまち前橋～ 朔太郎音楽祭実行委員会

共催 前橋市、前橋市教育委員会、(公財)前橋市まちづくり公社

後援 (一社)日本マンドリン連盟、前橋商工会議所、(公財)前橋観光コンベンション協会、東日本旅客鉄道(高崎支社、朝日新聞社前橋総局、群馬県経済新聞社、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、高崎前橋経済新聞、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、共同通信社前橋支局、時事通信社前橋支局、NHK前橋放送局、NHKエフエム群馬、群馬テレビ、J-COM群馬、まえばしCITYエフエム

協賛 アクサ生命保険(前橋営業所、前アクティブ、伊香保 おもちゃと人形 自動車博物館、前池田建商、前エフエム群馬、MSD商事、大澤栄一郎司法書士事務所、南おとわ花ショップ、前小川屋、カネコ種苗、前クライム、群馬茶友協会、ぐんま共済協同組合、前群馬銀行、群馬総合ガードシステム、群馬トヨペット、群馬日野自動車、群馬ヤクルト販売、前群馬旅行、現代仏蘭西料理「朔詩舎」、前コシダカ、小林工業、佐藤昌義税理士事務所、前サンワ、GNホールディングス、前ジーシー、敷島公園観光連盟、島村楽器、清水タクシー、社会保険労務士中野事務所、上毛倉庫、上毛電業、前ジーンズ、前鈴木ストア、前ステージサービス群馬、前総合PR、損害保険ジャパン日本興亜、損害保険ジャパン日本興亜ひまわり生命保険、前高野商店、前旅がらす本舗 清月堂、前ちざらホテル、中央カレッジグループ、前中央電機商会、前中央ビジネス、TM企画、前天国社中央 ホテルサンダーソン、東群グループ、前東和銀行、富沢鉄工、前登利平、永井運輸、前永井組、前中屋商事、前西建、日本ピアノホールディング前ピアノプラザ群馬、前ヌクイ、前ネットヨタ群馬、前酒造、前ヒロタ、前ファームドゥ、前福島産業、前フジプランニング、前美容建設、前プレーン、前ホテルルカ、前ホンダカーズ群馬、前マエダスタジオ、(公財)前橋観光コンベンション協会、(公財)前橋市まちづくり公社、前橋商工会議所、前前橋タイヤサービスセンター、前マタマーケティング、前丸せ紙工、三原工業、前宮下工業、前ヤマヨセメント前群馬中央生コン前橋、前ユーコム、前横山公認会計士事務所、前吉田鉄工、前理容ハルナ渡辺



～マンドリンのまち前橋～ 朔太郎音楽祭2018

# マンドリンオーケストラ演奏会

音楽監督・指揮 **青山 忠** Tadashi AOYAMA

1982年、中央大学在学中に日本マンドリン独奏コンクール第2位入賞。NHK交響楽団、読売日本交響楽団など、国内の主要オーケストラと多数共演。また、藤原歌劇団、二期会、英国ロイヤルバレエ団、ミラノスカラ座、Kバレエカンパニー等の公演に参加。2001年より東京オペラシティ内近江楽堂でコンサートを自ら企画して開催。シンガーソングライター山梨謙平、歌手石野真子のライブやレコーディング、マンドリンシンガー清心の演奏指導・ライブやレコーディングといった活動も手がける。

マンドリンオーケストラ・マンドリンアンサンブルの指導や楽譜の出版にも力を注いでいる。「楽しく弾けるポピュラーマンドリン二重奏」全4巻、「マンドリン・デュオ・アルバム」を出版。これまでに23枚のCDをリリースしているが、そのうち「マンドリーノ・ロマンティックⅢ～Ⅵ」、「弦色浪漫シリーズ」の準拠楽譜も出版し、多くのマンドリン愛好家の助けとなっている。また2006年に教

則DVD「はじめよう マンドリン」をリリースし、さらに2009年にはDVD「オデル・デュオクリニック前・後編」も発売。初心者から上級者まで、多くの演奏者からの注目を集めている。

2007年公開映画「クロースド・ノート」、2009年公開映画「スノープリンス 禁じられた恋のメロディ」、2010年放映のNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲2」、2013年公開映画「奇跡のリング」、ジブリ映画「風立ちぬ」等の劇中でマンドリンやバラライカを演奏。2013年「上野の森コンサート」に出演。久石譲&ワールド・ドリーム・オーケストラコンサートにゲスト出演。2014年NHK名曲アルバムにて「サンタ・ルチア」を演奏。2015年より「朔太郎音楽祭」(前橋市にて開催)の音楽監督を務める。2016年4月より放映されたNHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」の劇中にてマンドリンを演奏。



テノール **角田和弘** Kazuhiro TSUNODA

国立音楽大学声楽科卒業、同大学院修了。声楽を砂川稔、原田茂生の各氏に師事。

83年矢田部賞受賞。85年第16回イタリア声楽コンクールでミラノ大賞受賞。2000年第3回上毛音楽賞受賞。バリトンで活躍中の86年DAADの給費留学生として、ミュンヘン国立音楽大学に留学し、R.グルムパツハ氏に師事。一方、ミラノのG.ブランデッリ氏のもとでも研鑽を積み、バリトンからテノールに転向した。

88年3月「椿姫」のアルフレードで藤原歌劇団にデビュー、その後89年からは文化庁在外研修員としてミラノに2年間留学。コセンツァ・バタフライ・コンクール第2位。帰国後も新国立劇場・藤原歌劇団を中心に数々のオペラ公演やコンサートに出演。地元群馬では95年オペラ・アンサンブル・ぐんまを結成し、若き演奏家を育てながら自らも演奏し、その一方では演出家としても活躍。群馬県内でのオペラ活動を中心に音楽文化の向上に貢献してきた。2001年は第16回国民文化祭・ぐんま2001で歌劇「みづち」の総合アドヴァイ

ザーを務める傍ら、主役小太郎を演じ、2004年には新国立劇場での再演にも出演。

2006年には前橋高崎市民オペラ「ヘンゼルとグレーテル」の総監督・演出を担当。

「カルメン」ドン・ホセ、「蝶々夫人」ピンカートン、「道化師」カニオ、「夕鶴」とひょう、「ヘンゼルとグレーテル」魔女、「愛の妙薬」ネモリーノ、「ムツェンスク郡のマクベス夫人」セルゲイ、「ワルキューレ」ジークムント、「魔笛」タミーノ、「神々の黄昏」のジークフリートなどで絶賛を博す。また最近では指揮者としても活躍を始める。

現在、日本オペラ振興会(藤原歌劇団・日本オペラ協会)団員委員会委員長、群馬オペラ協会会長、群馬楽友協会専務理事、一般財団法人群馬音楽芸術学院特別講師、榛名湖・湖上オペラ実行委員会芸術監督、学校法人清水学園三山幼稚園理事、角田音楽企画代表。



ポエムリーディング **萩原朔美** Sakumi HAGIWARA

1946年11月14日東京生まれ。映像作家、エッセイスト。母は小説家萩原葉子、母方の祖父は萩原朔太郎。1967年、寺山修司主宰の演劇実験室・天井桟敷の立ち上げに参加、俳優・演出家として活躍。1975年、月刊誌「ピククリハウス」をバルコ出版より創刊し、初代編集長を務める。著書に『演劇実験

室・天井桟敷」の人々(2000年)『毎日冒険』(2002年)『死んだら何を書いてもいいわ』(2008年)『劇的な人生こそ真実』(2010年)他多数。多摩美術大学名誉教授。2016年4月より前橋文学館館長。



マンドリンオーケストラ Mandolin Orchestra

平成27(2015)年より高校生の部と社会人・大学生の部、二つのマンドリンオーケストラを結成して開催。高校生の部は、県立前橋高等学校と県立前橋女子高等学校のギターマンドリン部、社会人・大学生の部は群馬マンドリン楽団、前橋マンドリン楽団、ラパースマンドリンクラブを主体に群馬大学マンドリン

ソサエティや個人の参加者により構成され、青山忠音楽監督の指導による合同練習を重ねて音楽祭に臨んでいる。今まで日本の現代作曲家によるオリジナル作品を多く手掛けてきたが、今年はマンドリンの本場イタリア人作曲家の作品を集めて演奏する。

同時開催

## 「前橋原風景写真展」10月11日(木)～14日(日) 10時～17時

あの頃の懐かしい「時」が目の前に～アマチュアカメラマン井上道男が選んだ昭和の風景～  
昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館) 小展示ホール 観覧無料



お問い合わせ

～マンドリンのまち前橋～ 朔太郎音楽祭実行委員会事務局

〒371-0022 前橋市千代田町3-12-10

水と緑と詩のまち前橋文学館内 TEL.027-235-8011